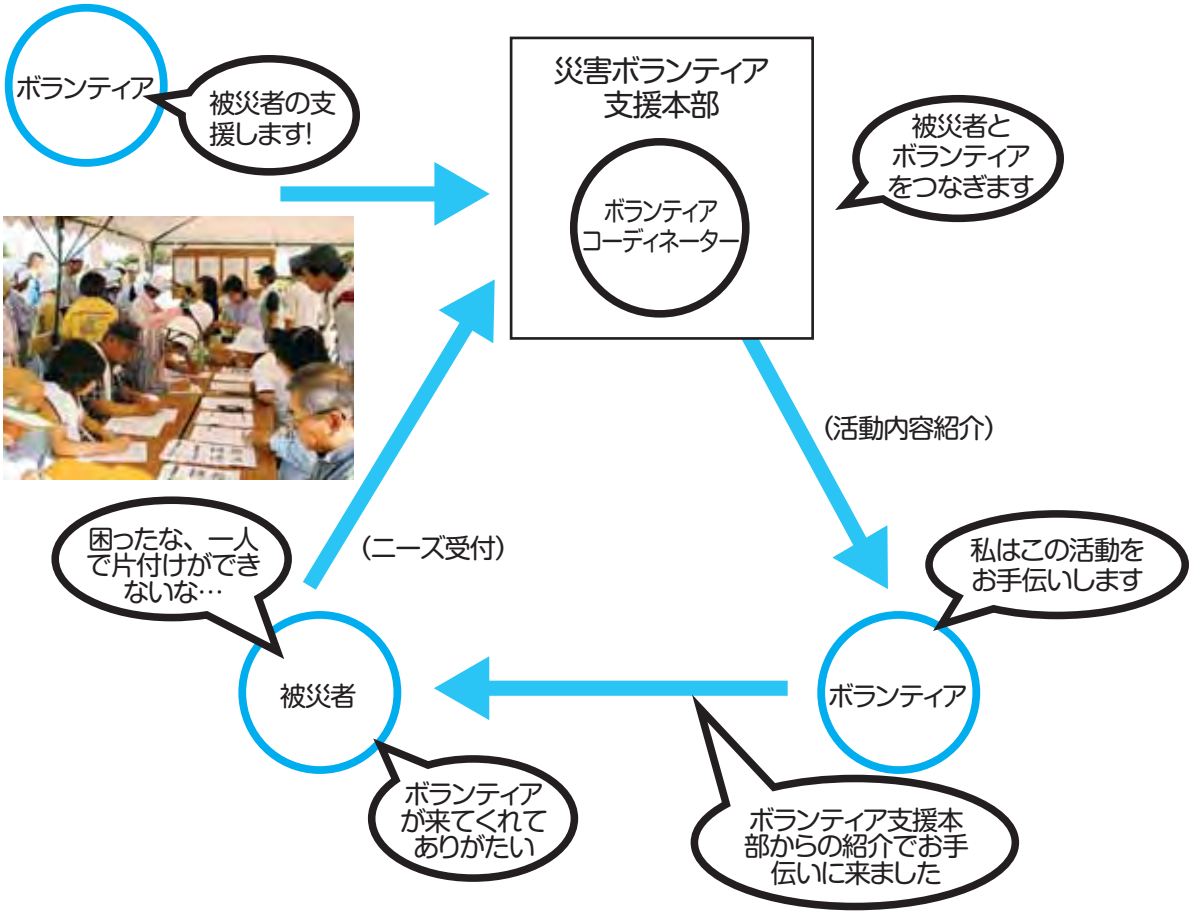
災害ボランティア支援本部は被災者を支援します！

平成20年８月28日深夜から29日の未明にかけて、愛知県内に記録的なゲリラ豪雨が襲来し、岡崎市などは河川の氾濫により家屋の倒壊、床上浸水などの災害が発生しました。

災害発生後、住民の暮らしの復興のため、「何か役に立ちたい」という思いのボランティアが駆けつけて、さまざまな支援活動が行われます。災害ボランティア支援本部は、助けを必要としている被災者のニーズを把握し、必要なボランティアを被災された世帯に派遣します。支援本部は市が設置し、防災ボランティアコーディネーターさんを中心にボランティアが運営にあたっていきます。

【一宮市災害ボランティア支援本部で行うことは？】

市内で大規模災害が発生すると、被災状況に応じて競輪場又は社会福祉協議会事務所内に災害ボランティア支援本部が開設されます。防災ボランティアコーディネーターさんの協力のもと、被災者のニーズを収集し、ボランティアさんが活動しやすいよう資機材の提供など側面から支援し、災害復興につなげていきます。



災害ボランティア支援本部は、被災者と復興を支援するボランティアとの架け橋になります。支援本部の役割の中でまず第一に必要なのは、被災者のニーズを的確に把握する事にあります。もし、皆さんが被災されてボランティアの支援が必要な時は、市内はもとより県内外から駆けつけたボランティアさんを派遣し、復旧のお手伝いをしますので、支援本部までぜひご連絡ください。なお、支援本部を開設しましたら、場所、連絡先などについては、社会福祉協議会のHPに掲載すると共に新聞などの報道機関を通じて市民の皆様に周知させていただきます。